作物名

（ 2021 ）年 度 委 託　　（ シ バ ）

対 象 病 害 虫 名 ・ 学 名　ダラースポット病 *Sclerotinia homoeocarpa*

試験場名　一般社団法人日本植物防疫協会　　担当者氏名　日植防　太郎

1. 試 験 目 的　防除効果および薬害の検討

2. 試 験 方 法　試験地場所　茨城県牛久市結束町 535　牛久ガーデンゴルフクラブ　ナーセリーグリーン

対 象 病 害 虫 発 生 状 況　中発生　初発：9 月下旬

耕種概要(品種・施肥・一般管理・露地栽培か施設栽培(ビニルハウス・雨除け・トンネルなど)の区別・土壌性条件・試験期間中の薬剤防除を記載)

草種：ベントグラス　土性：不明

試験期間中の薬剤防除：9 月 26 日　サブデューマックス液剤（初回散布翌日）

施肥：ゴルフ場の慣行に従った。

管理：刈高：4.5mm　刈り込み頻度：3 回/週　ゴルフ場の慣行(グリーンの管理)に従った。

区制・面積・試験区の構成　1 区 2.0 ㎡(2.0m×1.0m)　3 連制

1−Ⅰ	2−Ⅱ	3−Ⅲ
2−Ⅰ	3−Ⅱ	1−Ⅲ
3−Ⅰ	1−Ⅱ	2−Ⅲ

1. A フロアブル
2. B フロアブル
3. 無処理

Ⅰ、Ⅱ、Ⅲは連制を示す。

処理年月日,量,方法,処理時の作物ステージおよび処理前後の降雨影響

(処理年月日)2021年 9 月 26 日および 10 月 10 日の計 2 回

(作物のステージ)生育期

(処理方法)背負式バッテリー動力噴霧機を用いて、所定量を散布した。

(処理前後の降雨影響)処理当日には降雨がなかったため、影響はなかったと思われる。

試験期間中の気象条件

月日	9/26	9/27	9/28	9/29	9/30	10/1	10/2	10/3	10/4	10/5	10/6	10/7
平均気温(℃)	20.6	22.1	22.1	24.2	24.6	23.3	23.0	22.5	23.2	24.4	19.0	19.2
降水量(mm)	0	0	0	0	0	0	0	0	5.0	1.5	19.5	3.0

月日	10/8	10/9	10/10	10/11	10/12	10/13	10/14	10/15	10/16	10/17	10/18
平均気温(℃)	20.0	18.9	18.5	20.3	20.8	21.9	16.4	16.0	14.3	15.8	15.9
降水量(mm)	5.5	0	0	4.5	325.5	0	13.5	2.0	0	0	4.0

観測地点：アメダス土浦　太枠は散布日

調査月日・方法　(月日、詳細な方法、指数等を用いた場合は指数分類・式、薬害の判断方法・時期を記載)

(調査月日)　薬効試験：9 月 26 日(散布前)、10 月 10 日(初回散布 14 日後)、10 月 18 日(最終散布 8 日後)

薬害試験：10 月 10 日(初回散布 14 日後)、10 月 18 日(最終散布 8 日後)

(調査方法)　下記の基準によりパッチを大きさ別に数え上げた。さらに調査結果からパッチ面積率を算出した。

防除価はパッチ面積率の平均値より求めた。

調査基準　小：直径 2 ㎝以下　中：直径 3 ㎝以上 5 ㎝未満　大：直径 5 ㎝以上

薬害は、葉身を対象に肉眼により観察し、薬害症状の有無を以下の内容で評価した。

－：薬害を認めない　＋：軽微な薬害症状を認める

＋＋：中程度の薬害症状を認める　＋＋＋：重度の薬害症状を認める

その他　(特記する事項があれば記載。接種または放虫した場合は、採集場所・時期・由来、月日、詳細な方法を記載)

コメントの追加 [WU1]: 学名の表記方法について
以下アドレス内(http://www.jppa.or.jp/test/shiken.html)の学名リストに代表的な学名を記載しています。ご活用下さい。

コメントの追加 [WU2]: 土性の表記について
・壌土、砂壌土、砂土など。分からない場合は不明と記述。

コメントの追加 [WU3]: 試験期間中の防除薬剤(殺菌又は殺虫剤)について
・使用月日、薬剤名を記載。試験開始前であっても試験に影響があると考えられるものは記述する。使用していない場合は「なし」と記載する。

コメントの追加 [WU4]: 気象条件について
・試験開始から最終調査日までの平均気温、降水量を表またはグラフで示す。
・データの引用元を付記する。

コメントの追加 [WU5]: 調査月日・調査方法について
・薬効と薬害の調査日が異なる場合はそれぞれ記載。
・調査月日と方法の項目を分けずにまとめても可。
・薬害は、いつ、どの部位について観察したかわかるように記述する。グレードは適宜定めてよい。

コメントの追加 [WU6]: 特記事項、接種について
・接種した場合はここに記載。病原菌の由来や接種方法(接種量や箇所、薬剤処理との時間的関係)を記載

作物名

（ 2021 ）年 度 委 託　　（ シ バ ）

対 象 病 害 虫 名・学 名　**ダラースポット病** ***S. homoeocarpa***　　**試験場名**　一般社団法人日本植物防疫協会

3. 試 験 成 績

供試薬剤	希釈倍数 水量	区制	調査日別 パッチ面積率および大きさ別パッチ数						防除価	薬害 10/10、18
			9/26		10/10		10/18			
			パッチ面積率	パッチ数	パッチ面積率	パッチ数	パッチ面積率	パッチ数		
17） Aフロアブル 既知化合物 30.0% Lot.00000	2000倍 0.5L/㎡	Ⅰ	0.10	大 0 中 0 小 6	0	大 0 中 0 小 0	0	大 0 中 0 小 0		—
		Ⅱ	1.00	大 0 中 3 小 5	0.50	大 0 中 3 小 0	0	大 0 中 0 小 0		—
		Ⅲ	0.50	大 0 中 1 小 5	0.01	大 0 中 1 小 1	0	大 0 中 0 小 0		—
		平均	0.53		0.17		0		100	
対）Bフロアブル 既知化合物 40.0%	6000倍 0.5L/㎡	Ⅰ	0.10	大 0 中 1 小 3	0.01	大 0 中 0 小 2	0.01	大 0 中 0 小 3		—
		Ⅱ	1.00	大 0 中 2 小 8	0.50	大 0 中 2 小 5	0.01	大 0 中 0 小 3		—
		Ⅲ	1.00	大 0 中 3 小 6	0	大 0 中 0 小 0	0.01	大 0 中 0 小 1		—
		平均	0.70		0.17		0.01		99.9	
無処理		Ⅰ	1.00	大 0 中 2 小 8	2.00	大 0 中 7 小 11	10.00	大 3 中 20 小 85		
		Ⅱ	0.50	大 0 中 2 小 3	2.00	大 0 中 3 小 19	12.00	大 5 中 18 小 92		
		Ⅲ	0.10	大 0 中 0 小 4	3.00	大 0 中 9 小 15	15.00	大 5 中 22 小 105		
		平均	0.53		2.33		12.33			

コメントの追加 [WU7]: 試験成績について
・結果を表形式で記載。
・連制ごとまたは調査地点ごとに結果を表示し、合計値または平均値を表示する。
・評価に用いた数値（発病指数、発病率および防除価等）も記載する。
・薬害は調査時期がわかるように表記。
・2021 年度より表中の無処理区の薬害記号は記載不要となりました。

紙面のスペースによっては“後述”と記載し、表を末尾に記載しても可。

4. 考 察（判定した時期、判定記号を記載）

9 月下旬に初発を認め、散布前の事前調査により各試験区の発生状況を均等にして試験を開始した。試験開始以降、無処理区内でパッチ数の増加が認められ、10 月 18 日の最終調査時、無処理区の平均パッチ面積率は 12.33%の中発生となった。判定は、10 月 18 日の調査結果からおこなった。

コメントの追加 [WU8]: 考察について
・実用性の判定は基本的に対無処理判定を重視する。対無処理判定と異なる判定とする際は、その理由を明記する。

17） A フロアブル　2000 倍　0.5L/m² 散布　BAA－

本処理は対照処理と比較してほぼ同等の効果を示し、無処理と比較して効果は高かった。実用性は高いと思われる。薬害は認められなかった。